

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年8月19日

氏名	[REDACTED]		
所属	外国語学部 ([REDACTED]) 研究科	スペイン語学科 学科・専攻	4年次
派遣先大学	ベラクルス大学		11ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
2	住居形態の詳細を教えてください。	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど (入れ替わりはあるが、6部屋、最大7人。広さは部屋による。シェアメイトはコロンビア・メキシコ・ブラジルの学生。)
3	入居時手続き	例: Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る (直接大家さんにデポジット (一か月分) 支払い。)
4	費用 (月額)	2200~2500 (ペソ) (食費 食費含まない/月)
5	支払方法	現金 (例: 月ごとに現金で、クレジットカードなど)
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
7	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
8	周囲環境	例: 近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など (スーパーまで徒歩 15~20分。コンビニが近くにある。)
9	アクセス	例: 大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用 (語学学校までは徒歩 20分、人文学部まではバスで 20~30分。バスはアパートの近くを通るが、時刻表や路線図はないため人に聞く方がよい。)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(今後留学をする学生に対して) : (部屋によってシャワーの温度が低く、キッチンが無い場合がある。ドラッグ・喫煙は禁止だが、フィエスタと楽器の練習に制限は無いため、メンバーによっては騒音がある。)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入してください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
12	詳細を教えてください	例) ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り (2LKD)、広さなど ([REDACTED])

II. 通信環境について（該当の項目を選択、または入力してください。）

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (現地の携帯ショップで携帯を購入。)
4	自宅のインターネット接続環境	有線（大学または寮へのLAN接続）
5	大学内インターネット接続環境	有線（大学または寮へのLAN接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均） ※現地通貨で記入。（ ）内に通貨単位を記入すること。		
1	宿舍費	2500~2900 (ペソ) /月
2	食費	2000 (通貨入力) /月
3	交通費	500 (通貨入力) /月
4	通信費	300 (通貨入力) /月
5	娯楽費	1000 (通貨入力) /月
6	図書費	0 (通貨入力) /合計
7	学用品（教科書など）	300 (通貨入力) /合計
8	被服費	500 (通貨入力) /合計
9	医療費	0 (通貨入力) /合計
10	雑費・その他	1000 () /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む） ※日本円または現地通貨で記入。		
11	出願料・宿舍デポジット	15000 (円) /合計
12	ビザ申請関連費	3000 (通貨入力) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	250000 (通貨入力) /往復
14	その他	170000 (通貨入力) /合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	933,000 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：5万円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：三菱UFJ） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	していない
18	手続き方法・利点・欠点	ここをクリックしてテキストを入力してください。
19	お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して)	日本より食費や家賃は安いですが、物の値段が日本より高く質が悪いので、思わぬ出費となる場合があります。旅行は様々な方法を検討して比較するとコストを抑えられる。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン）	（ ）か月分で（ ）円
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	（2で「はい」を選んだ場合のみ記入） 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	（3で「受けた」を選んだ場合のみ記入） どのような方法で適用を受けましたか？	キャッシュレス その他（ ）
5	（4で「受けることができなかつた」を選んだ場合のみ記入） 適応されなかつた理由はなんですか？	
6	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	頭痛薬、胃薬、整腸剤 日本と異なり病院に頼れず、薬局の薬も不安な場合があるため。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 薬、体温計、卓上ランプ、ノート、筆記用具、日本食、靴、化粧品
2	現地で購入したもの 服、調理器具、ビタミン剤、化粧品
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持って行っていたら便利だと思ったもの 冬服

VI. 留学先で困ったこと

着いてすぐに酷い食中毒になったが、症状を自覚した際すでに動くことができず、救急車が機能しているかも調べられず、遠慮から同居人に助けを求めることもできなかつた。想像以上に冬が寒く、暖房がなかつた。現地で冬服を購入するほか、機能性の高い日本のコートやカイロを送ってもらった。日本食の材料も手に入れることが難しく、胃を壊した際の食べ物が無かつたので、持参したほか送ってもらった。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

薬はできるだけ持って行った方がよい。知り合ってもないから、言葉がうまくないからと遠慮せず、有事の際は助けを求めるべき。他人であっても大抵の人は力になってくれる。ハラパには日本食レストランがほとんどないため、自炊を希望する際は調味料や食材を多少持っていくとよい。

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	スペイン語学科	4 年次
氏 名				
派遣先大学 (国)	ベラクルス大学 (メキシコ)			
所属プログラム・ 学部・研究科		履修言語	スペイン語	
留学期間	2018 年 8 月～ 2019 年 7 月			
報告書提出日	2019 年 8 月 19 日			

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9 月 21 日 ～1 月 21 日 (14 週)	1 月 24 日 ～2 月 1 日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の 1 週間は履修登録を加除できる。XX 先生に相談し、……
Otoño	8 月 20 日 ～12 月 15 日 (17 週)	月 日 ～ 月 日	語学学校の授業を開始。レベルを確認するテストを受け、履修担当の Emilio 先生と相談しながら授業を決め、登録する。試験は各コース最終日に行われる。
Primavera	1 月 28 日 ～6 月 28 日 (22 週)	月 日 ～ 月 日	今学期から学部の授業を開始。掲示板の授業表と学部の先生方に相談し、授業を選択した。履修登録には事務所に専用の用紙を提出したが、承認に数週間要した。私が選択した学部の授業は、試験ではなくレポート提出だった。語学学校は変わらず担当の Emilio 先生相談・登録をし、試験は各コース最終日に行われる。

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。

【記入例】 Fall Semester	International relations IIB	30 時間 ----- 1 (時間/回) × 3(回/週) × 10(週)	講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は【⑥' 【参考資料】 授業時間数について】をご参照ください。
Otoño	Español IntensivoIII	65 時間 ----- 2.6 (時間/回) × 5(回/週) × 5(週)	一日 3 時間の日と 2 時間の日があった。3 時間の日は休憩を挟むことも可能。教科書を使用して基本の文法を振り返ることが中心。クラスメイトは韓国人一人のみなので、自由に質問ができる環境。しばしばそれぞれの進度に合わせた授業を行うため、教科書を使わないこともあった。
Otoño	Taller de Español	50 時間 ----- 2 (時間/回) × 5 (回/週) × 5 (週)	一日 2 時間。メンバーはアメリカ・ブラジル・ハンガリー・クルジスタンと多様だが、Español IntensivoIII よりも応用の増えた B1 からのレベルという形で、質問もしやすい。先の授業よりも語彙が増えており、かつメンバーの能力がほぼ同じ程度なので、質問が議論に発展することも多くあった。そこから新たな単語や言い回し、文化を学ぶことができるため、実りの多い講座である。
Primavera	Español IntensivoIV	32 時間 ----- 2 (時間/回) × 4 (回/週) × 4 (週)	Español IntensivoIV という名前ではあるが、私のレベルに合ったクラスが開講されなかったため、実際の内容は C1 以上。単位は出ず聴講生という形をとって参加していた。メンバーは 8 割方ブラジル人で、私と同クラスの中国人生徒にとっては大変難しく、授業についていき語彙を増やすことで精いっぱいだった。
Primavera	Español IntensivoIV	48 時間 ----- 2.3(時間/回) × 3 (回/週) × 7 (週)	およそ B2 レベル。2 時間の日と 3 時間の日があり、中国の生徒と 2 人で行った。今回はベラクルス大学の生徒が語学学校でのインターンシップのため授業に同席し、先生を補助する形で質問や議論に参加した。文法は主に接続法を取り上げる。単純な文法問題を解くだけでなく、長文を書いて読み上げる練習を取り入れていた。また、授業中の発言で誤った文法はチェックされ、訂正してもらうことができた。
Primavera	Gramática de Español	45 時間 ----- 2.5 (時間/回) × 3(回/週) × 6(週)	最終授業。週 7 時間で、一日の時間は先生やこちらの都合で週ごとに調整した。直接法から接続法まで満遍なく復習。練習問題が中心で、理解の不十分なテーマや今までに触れなかったものは繰り返し演習し、課題プリントも毎回出た。先生とマンツーマンだが、授業後に別教室で、インターン生と会話や長文読解など希望の練習をすることができた。

Primavera	Mitos y Ritos	68 時間	人文学部の歴史考古学科の授業。数回ごとに指定される神話・儀式についての文献を読み、授業内で意見が求められる。専門用語が多いため、理解に大変時間を要した。発言は挙手制のため強制されないが、グループ学習もあるため、意見を求められた際は恥ずかしがらずに発言するとよい。2 回中間レポートの提出があり、他に 1 度グループでパワーポイントを使った発表、そして最終授業日に最終レポートの提出という計 4 回の評価機会があった。提出前は友人にチェックしてもらい、不自然な文を修正した。
		2(時間/回) × 2(回/週) × 17(週)	
		時間 (時間/回) × (回/週) × (週)	

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

全体を通して予習が難しい授業がほとんどだったが、事前に指定があった場合は内容に目を通していった。復習は、授業中にチェックした単語を自宅で見直すほか、理解の浅い部分は日本から持参した文法書と照らし合わせたり、インターネットを通してや直接ネイティブに確認していた。

ネイティブと会話をする際、余裕がある場合はなんとなくの会話で済まらず、できるだけ私のお話したスペイン語を直し、別の言い回しも教えてもらったうえでメモすることを心掛けていた。相手は誰でもよいが、特に語学を専攻している学生に相談すると、学習への理解を得やすかった。復習する中で何度も出てくる単語・熟語は、気が付いた時から積極的に日常会話や作文練習で使用し、使い方が正しいかどうか確認していた。

1.3 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

成果：留学前は自身の状況をつかえながらも言える程度だったが、留学を通して語彙やネイティブとの会話経験が増えたため、それまでほとんど意識しなかったメキシコスペイン語への理解が深まった。出発時は DELE の A2 レベルだったが、現在はおそらく B1～B2 であると感じている。11 月に B2 を受験する予定。

取り組み：留学中は動画配信サイトに登録し、数日に一回まとまった時間がとれる時、映画を音声・字幕ともにラテンアメリカスペイン語で視聴していた。頻出単語や気になったことは手元のノートにメモし、その都度辞書で調べていた。

そのほか、後期からニュースの西日翻訳を始めた。当初は日本のニュースをスペイン語に訳し、ネイティブに添削してもらっていたが、長文であるため時間がかかりすぎ、日本語特有の言い回しにも悩まされ、あまり続けられずにいた。逆にスペイン語のニュースをメキシコ版 SNS から拾ってみたところ、元々簡潔にまとめられているため取り組みやすく、続けることができた。

1.4. 研究について (※大学院生のみ記入)

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

映画鑑賞：初めや後に日本語で見ると理解が深まるのは勿論、自分が必要な時に一時停止・巻き戻しをして文章の確認ができたため、会話文や日常生活で使わない文学的な言い回しの勉強になるほか、リスニング力向上に大いに役立った。

ネットニュース和訳：何度か訳すうちに同じ単語や熟語を見かけ、その都度チェックすることで定着させることができた。継続してある程度の長さの文章を訳すことで読解力が身に付き、原文がニュースであることで時事用語の習得にもつながった。

授業を通して：学部の *Mitos y Ritos* という授業を選択し、日本では一切触れたことのない宗教系の単語に触れた。それによりメキシコの宗教観を理解しやすくなっただけでなく、日本の神道・仏教の文化や価値観、天皇制をよりわかりやすく説明することができるようになった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

反省点：渡航から数か月間、適した学習方法がわからず一人で黙々と課題や復習に取り組み、実用性のない学習ばかりしていた。語学学校のカリキュラムが自分に合わない時期は、コースを辞めたり他に学習方法を探したりする選択が思い浮かばず、学校に相談するのも二の足を踏んでしまい、辛い思いをするとともに、相当な時間を無駄に過ごしてしまったことを反省している。

また、特に前期は友人ができにくく、実際にスペイン語を話す機会が少なかったため、伸びるはずの語学力を上げられぬまま時間を過ごしてしまったことを後悔している。

アドバイス：ただ学校に渡された課題をこなすというよりは、あれこれと試行錯誤し自分に合った勉強法を見つけるほうがよい。自分の興味のある分野がはっきりしている場合は、できるだけ早く周りに相談する方が、学習につながるだけでなく後々人脈も広がりやすい。

勿論出会いにはタイミングやきっかけも重要だが、信頼できそうな学生を見つけ、積極的にイベントやフィエスタへ参加することも重要である。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

留学生活を通して、植民地支配の歴史とキリスト教文化を知り、そして多角的な視野を得ることができた。メキシコには元々先住民がいたが、現在はスペイン系との混血が大多数を占めている。未だ先住民差別や欧米系への視線は根強いものの、少なくとも私が関わった人々の間では「人は皆違うものである」という共通認識があるように思われた。物珍しくは思われつつ、日本人を理由にあからさまな差別を受けたり、距離を置かれたりすることがないのは新鮮な驚きだった。また、中米と言う位置に滞在することで、今まで感じなかった欧米・アジア圏の新たな印象を学んだ。そうした留学生・外国人・異宗教という立場を経て、帰国後は日本に滞在する同様の立場の人々への考え方・接し方が変化したように思う。経験をもとに、今までの視点に加えて様々な立場から想像を膨らませることができるようになった。こうした成果を、卒業論文は勿論、今後の学修に活かしていきたいと考えている。

2.4 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス (内容ごとに項目を分けて記入)

反省点：特に前期、語学学校のクラスメンバーが頻繁に変わったため、友人を作ることが難しかった。基本的に一人で勉強しており、遠慮と恥ずかしさから知り合ったネイティブと打ち解けることも難しく、早く友達になるべきだったと反省している。

アドバイス：学校内で人脈を広げることが難しい場合は、市内のイベントに1人でも飛び込んでみたり (Facebook や町中に様々なイベントの告知がある)、友人にフィエスタへ招待してもらったりすると、紹介で友人を増やすことができる。基本的に留学生は孤独なことが多いため、人脈が有事の際命を救うこともある。信用できるか見極めるのに時間を要するのは仕方がないが、頼れる人は多くいたほうがよい。一方で、親しい友人以外からの誘いにはある程度用心すべきである。自分が日本人と言う目立つ存在であることを忘れてはいけない。

玄関が一つで学生専用の共同アパートに住むと、家に誰かがいることが多いため、セキュリティ上最も安全だと感じた。語学学校や大学が斡旋する家は大抵がそのような形なので、紹介してもらおうとよい。同居メンバーによっては仲良くなり、一緒に出かけたり料理を振舞ってくれたりすることもある。

食生活について、Xalapa の場合は魚が手に入りやすく (鮮度が非常に悪いため避けた方がよい)、肉や乳製品が中心になる。メキシコ料理には油を多く使うものが多く、日本の食材も簡単に手に入らないため、普段は問題なかったが、発熱時や胃腸を壊した際の食事に苦勞した。

メキシコでは生水が飲めないため、家の近くでまとめて飲料水を買う必要がある。野菜・果物は、皮をまず食器用洗剤でよく洗ってから調理する。生食する場合は、スーパーマーケットなどで手に入る専用の消毒液に浸す必要がある。農薬だけではなく、地面からついたバクテリアを殺す必要があるからである。また、肉や魚は販売時の衛生環境が悪いため、調理・冷凍前によく洗い、使用した器具をすべて熱湯消毒していた。生ものは食中毒のリスクが非常に高いため、用心して生活すべ

きである。急病や緊急時は1人で考え込まず、速やかに保険会社などに相談し、周囲に人がいる場合は遠慮せずに頼るとよい。

※作成できましたら国際センターまで、**Feelnote** のプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留学修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。